



3



2



1

1 農業センター前にある旧島田家住宅の縁側で撮影した夏野菜。

2 上富で農家を営む島田喜昭さん。おもに人参、里いも、じゃがいもをこの畑で生産しています。3 7月11日に上富地区活性化協議会主催の「えだまめの収穫体験」のひとつ。イベントの最後には平地林のなかで大きく育ったカブトムシを子どもたちにプレゼント。

「皆さんのこうした想いと愛情がギュッと詰まっていることが、みよし野菜のおいしさの秘訣なのかもしれません。」

**故郷を離れてわかる 三芳町の魅力**

みよし野菜の生産者のひとりで、農林水産省の職員として5年間働き、農家を継いだ上富の島田喜昭さん(46)。なぜ一度就職したにも関わらず故郷に戻ってきたのか、その思いをうかがいました。

「いずれは農家を継ぐことは分かっていました。だからこそ

TOKAI NAKA

みよ 味良しの味力  
みりよく 美味しさの秘密  
故郷への愛情

「食」。私たちが生きるために必要なこと。「味」。私たちがおいしいと感じること。心を込めて作る人たちの愛情が、みよし野菜にはギュッと詰まっています。

広

大な大地、降り注ぐ太陽の光、心地よい風が土の香り

を運ぶ。ここは埼玉県三芳町、日本一東京から近い町。この地で作られる野菜は「みよし野菜」としてブランド化し、多くの人に食されています。

三芳町の特産はなんと「さつまいも」。しかし、三芳町の豊かな大地が生み出すのはそれだけではありません。例えば、ほうれん草。全国収穫量は千葉県に続き埼玉県は2位。三芳町のほうれん草は、ゆでるだけで甘くなり、初めて食べた

人は、そのおいしさにびっくりします。さらに、都心から近い地の利を生かして、新鮮な野菜を出荷できるのも三芳町の大きな魅力です。

おいしさの秘訣

夏野菜の代表のひとつ「トマト」。消費地が近いため、熟しても出荷できる町内で収穫したトマトはとっても甘く、まるで果実のようです。「他市町村の野菜との差別化を図った三芳町ならではの野菜を提供したい」「三芳町の野菜はおいしいと笑顔で食べてほしい」。生産すべ

一度外に出て、客観的に故郷三芳町を見てみたかったんです」という島田さん。「離れて分かっているんだ」と。当たり前のこと的魅力。上富からだとは遠いけど、それも利点。子どもの送迎と一緒に車に乗って会話をしたり、故郷の風景が変わりゆく姿を楽しむことができます。電車に乗れば都内まであっという間で。気軽に自然と触れあえ、暮らしに不自由しない。なんて三芳町は恵まれたところなんだろうと思いました。

「都会から近いのに、自然に触れあえて農業体験もできる。おいしい野菜を新鮮なまま食べられる。こんなに魅力的な町は三芳町しかありません。」

三芳町のさつまいもが「川越いも」と呼ばれる理由

謹の時に人々の命を救ったありがたい作物さつまいも。関東地方へ伝えられたのも、享保の飢饉がきっかけです。その後、川越地方に広まり、平地林の落ち葉がさつまいも作りに欠かせない肥料の一つであることから、三芳町上富地域で盛んに栽培されるように。「川越いも」という名は、川越城主が十代將軍徳川家治に川越地方で穫れたいもを献上したところ、將軍は色の美しさと味の良さからその名をつけられました。それ以後、川

越地方で穫れるさつまいもを「川越いも」と呼ぶようになり、そのほとんどは、三芳町で作られているのです。



伊東久子さん

江戸屋弘東園

住所：上富 1388-3  
☎ 049-258-2711

三富新田が生み出す特産品をそろえた農家ショップ。秋からは富の川越いもを販売しています。パッケージの文字は伊東久子さんがデザインし、書いたもの。



富のうまかるう



秋以外でも三芳産のさつまいもを味わえる、いもようかん。

富のいもせんべ



砂糖不使用なのに甘い。いもの素材を十分に活かした一品。

紅茶アイス



さっぱりとした味。紅茶の香りが口に広がります。

狭山茶コーラ



お茶のコーラ!? と話題に。狭山茶も三芳産なんです。

田畑園

住所：上富 2265  
☎ 049-258-1710

土にこだわり、新しい設備や技術を積極的に導入。狭山茶新茶初取引で、キロ10万円の史上最高額で取引されるなど、評価が高いお茶屋さんです。



田畑淳子さん

この夏おすすめお土産どうぞ  
三芳産まれの6次産業品

町のWEBサイトからほかの加工品をご覧ください。